

岩名雅記 独舞
ジゼル傳

紅い朱の毒を
紫の朱に染みこぼす

MASAKI IWANA Solo Buto Dance

La légende de

GISELLE

"Quelle horreur de voir le vermillon dégénérer en pourpre"

【東京公演】 International Dance Festival to Hit Theater X 企画制作
1994年 9月6日(火) 開演19:00
7日(水) 開演19:00
会場 place シアター X (カイ) Theater X

【関西公演】 AI HALL DANCE COLLECTION Vol.11
9月14日(水) 開演20:00
15日(祝) 開演15:00
会場 place AI HALL

舞踏 - Duple - 岩名雅記 Masaki Iwana

音楽 - music - GMEA (フランス・アルビ市電子音楽集団)
Tobias Besche, Roland Olsart, Marc Pichelin

「赤い朱に染みこぼす紫の朱に生まれまし

花もなつかし其もなつかし」

前売 - advance - ¥3,000
当日 - at the gate - ¥3,300
学生 - student - ¥2,000 (東京公演のみ)

0ISELL3

"Quelle horreur de voir le vermeil dégénérer en pourpre"

岩名雅記独舞 ジゼル傳

——紫の朱奪ふことを悪む——

[東京公演] International Dance Festival to Hit Theater X 企画招待

1994年 9月6日 (火) 開演19:00—開場は各回とも開演の30分前

7日 (水) 開演19:00

会場—place—シアターX (カイ) Theater X

JR総武線両国駅徒歩3分、両国シティーコア1F

JR Sobu Line, 3 min. from Ryogoku Station, Ryogoku City Core Bldg.

[スタッフ]

照明: ソライロヤ

舞台監督: 新井輝久

制作: アブラクサス、プリズム(株)

主催: シアターX、白踏館

[関西公演] AI HALL DANCE COLLECTION Vol.11

9月14日 (水) 開演20:00—開場は各回とも開演の30分前

15日 (祝) 開演15:00

会場—place—AI HALL (伊丹市立演劇ホール)

JR宝塚線伊丹駅前

JR Takarazuka Line, at the Itami Station

[スタッフ]

照明: 澳 義則

音響: 加藤剛一郎 (株式会社SFC)

制作: 志賀瑤子 (ヴェレッチ)

主催: 伊丹市

助成: フランス外務省フランス芸術文化活動協会(AFAA)

協力: フランス・アルビ市文化センター、(有)オフィス・ダム

東京日仏学院・藤田現代音楽資料センター

料金—fee—

前売—advance— ¥3,000 (以郵送券別紙請求書、郵送券別紙に記入してください)

当日—at the gate— ¥3,300 (催行前日限り、催行当日は券別紙に記入してください)

学生—student— ¥2,000 (学生割引券、郵送券別紙に記入してください)

前売—ticket office—

東京—Tokyo—シアターX (Theater X) 03-5624-1181

チケットぴあ(Ticket Pia) 03-5237-9988

チケットセゾン(Ticket Saison) 03-5990-9999

伊丹—Itami—アイホール(AI HALL) 0727-82-2000

チケットぴあ(Ticket Pia) 06-363-9988

チケットセゾン(Ticket Saison) 06-308-9999

予約・お問い合わせ—inquiry, reservation—

シアターX(Theater X) 03-5624-1181

白踏館(Hakutokan) 03-3772-4097

アブラクサス(Abraxas) 03-5571-2731

アイホール(AI HALL) 0727-82-2000

有名なバレエの古典「ジゼル」に着想を得たソロ舞蹈作品。蒼ざめた月光に照らし出された墓地は生と死、過去と現在が交錯する境界線。その上で危ういバランスを保ちながら岩名雅記がジゼルを踊る。その体の中に宿る限りなくやわらかなものが、固く引き締まった筋肉をゆるやかに解きながら表われてくる。

をみなにてまたも来む世ぞ生まれまし花もなつかし月もなつかし

(邦歌=山川登美子)

昨年秋からこの春にかけて、私はムーランルージュ裏のスタジオで50回、たった独りの「ジゼル」を踊った。踊る前に先ず石炭ストーブに紙をくべる。煙突の気流を耕し、薪をくべ、石炭を葬って冬を暖めても、火は時に絶える。同様に踊りも又、しばしば途絶えた。而して背ぐりかえって裾を噛むような、工作を台無しにするための工作を、徒勞の頭を撫でながらの50回。そして「結果」を招来しない「何という事もない踊り」を踊る事の勇氣とは、実は快感そのものである事を知った。

私の中の女性、水平に流れる時間に抗って垂直に吹き上がる記憶、モノから除名通告されて久しいヒトのモノへの憧憬...。ジゼルの主題は私と空間との間で(皮下静)脈打っている。

尚、タイトルの「紫の朱奪ふことを悪む」は孔子「論語」巻9第17「陽貨」より引用した。

岩名雅記



岩名雅記

'75年いわゆる“舞踏の系譜”の外側で単独の舞踏活動を開始。'82年迄に全裸、不動、垂立による実験的ソロパフォーマンスを150回以上にわたって展開する。'83年のアビニョン＝シャルトレーズフェス他に招待参加したのをきっかけに、以後日本とヨーロッパ各地で公演とワークショップを継続的に行っている。研ぎ澄まされた美意識に裏打ちされた作品を次々に発表し、常に注目を集めている。舞踏研究所白踏館主宰。

GMEA

Le Group de Musique Electroacoustique d'Albiの略。フランス文化省認定の現代音楽グループ。

フランス南部タルヌ県の中心、アルビ市を本拠に活動。電子音響音楽をはじめとする現代音楽の創作と普及を目的に1978年設立された。その活動内容は、音楽の創作、コンサート活動をはじめ、環境音楽のデザイン、独自に開発したコンピューターシステム、メリソンによる音楽教育など多岐にわたっている。環境と融合した新たな音世界を切り開いて、高い評価を得ている。



[岩名雅記ワークショップ]

9月17日 (土) 17:00-21:00

18日 (日) 13:00-17:00

会場=AI HALL内カルチャールームA

料金=各回-¥3,500/2回通し券-¥6,000

予約・お問い合わせ=アイホール 0727-82-2000

●できれば2日続けての参加をおすすめいたしますが、1日だけの参加も可能です。ダンスの経験の有無は問いません。当日は体操着など動きやすい服装でおいってください。